

# 訪問理・美容サービスなど

## 在宅福祉支援事業後退：新年度市予算

上越市の新年度予算では在宅福祉サービスの後退・縮小がきわだつて目につきます。

たとえば、訪問理・美容サービス事業。この事業は理・美容店に行くことができない要介護認定者宅へ理・美容師を派遣し、整髪サービスを提供することにより、寝たきり高齢者等が快適な生活を営めるよう支援するものですが、これまで自己負担分は2000円で済みましたが、ところが新年度からは実際にかかった費用全額（おおよそ3500円）を負担することになったのです。

市はこれまで理・美容店にたいして一件につき3000円の委託料を払ってききましたが、新年度からは1500円にけずりました。

このサービスの対象者は理容店や美容院へ行くことができない要介護1以上の認定者、障害のある人で、対象者数は市内全域で約1600人です。

寝具丸洗い乾燥サービス事業では、新年度から新たに自己負担をとることになりました。自己負担金をとる対象は市民税所得割課税世帯の人で、費用の1割（丸洗い1回400円、乾燥1回250円）です。市民税所得割非課税世帯はこれまでどおり無料となっています。

寝具丸洗い乾燥サービス事業は、寝具の衛生管理が困難な要介護者やひとり暮らし高齢者等を対象に、寝具の丸洗い及び乾燥のサービスを行うものです。

サービスの実施内容は、

《要支援以上の認定を受けた人の場合》

丸洗い：年2回（5月、11月）

乾燥：月2回（5月、11月を除く）

《ひとり暮らしや高齢者のみの世帯で、寝具の衛生管理が困難な人》

丸洗い：年1回（11月）

乾燥：月1回（11月を除く）

今年度の寝具丸洗い乾燥サービス事業登録者数（見込み）は約670人です。利用延べ件数（見込み）は約6420件。

新年度編成にあたって市は、「真に必要な効率的な施策を計画的に実施するため、財源のより「い」としていました。これまでこうしたサービスに關係していた人からは、「本当に必要なサービスを削るなんて、とんでもない。何を考えているのか」といった怒りの声が上がっています。

### 高齢者の居場所

#### 「遊友塾」開塾

NPO法人・よしかわたすけあいが介護予防の一環として取り組む「遊友塾」が8日、同法人事務所でスタートしました。

塾では、囲碁将棋、マージャン、パソコン、手芸などを学ぶことができます。

びっくりしたのはパソコンを習おうと集まった人が何人もいた



### 成人式に約1800人が参加

上越市の成人式が5日行われ、参加してきました。

式典と成人の集いは今年も実行委員会が中心になって準備してきました。式典そのものは30分たらずで終わり、その後は成人の集いでした。

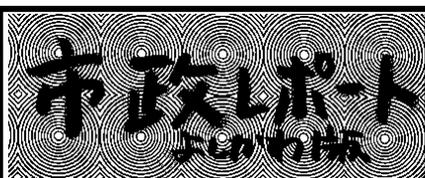
上越教育大学学生によるストリートダンス（写真）など若者たちのリズムに乗った、きびきびした動きに会場は静まり返りました。



### カタクリの白い花と…

山中の中村さんから「白いカタクリが咲いているよ」と教えていただきました。上の写真です。下はカタクリの酢味噌和え。美味しいです。

ことです。それも70代から90代の人まで参加していたのです。すごい意欲です。要介護者にならないようにする、なつても介護度が進まないようにするためには運動、バランスのとれた食事、口くうケア、それにこうした交流・勉強が効果を発揮します。がんばってほしいですね。



NO 1342  
2008.4.13

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一  
TEL 548-3628 (有線) 4867  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL http://www.hose1.jp/